

# 目指すは全コース制覇! 発見満載!

## 龍馬誕生コース①

歩行距離約1.7km  
約90分

坂本龍馬は、天保6年(1835年)11月15日、高知市上町に生まれました。このコースは、龍馬の誕生地や龍馬が剣術修行に通った日根野道場跡、亀山社中のメンバーだった近藤長次郎邸跡などを巡ります。

(展示館ガイド)  
龍馬の生まれたまち記念館

- 水通川
- 坂本龍馬誕生地
- 秋葉神社
- 魚の棚
- 大丁堤
- 水天宮
- 日根野道場跡
- 河田小龍塾跡
- 水天宮
- 近藤長次郎邸跡
- 才谷屋跡
- 龍馬の生まれたまち記念館

## 土佐の明治維新コース②

歩行距離約2.5km  
約120分  
電車利用

慶応2年(1866年)に土佐藩が殖産興業・富国強兵を目的に設置した開成館は、土佐の近代化において重要な役割を担いました。明治4年(1871年)には、板垣退助が「維新の三傑」である西郷、木戸、大久保と会合を行っています。現在は跡地に「憲政之祖国」と刻まれた高さ10メートルの石碑が建っています。このコースは明治維新の先駆けとなるゆかりの地を巡ります。

(展示館ガイド)  
龍馬の生まれたまち記念館

- 坂本龍馬誕生地
- 上町丁目(菜園場町)
- 堀川南岸堤
- 北光社移民団出航の地
- 三ツ頭番所
- 開成館跡
- 長岡謙吉顕彰碑
- 河田小龍塾跡
- はりまや橋
- 立志社跡
- 龍馬の生まれたまち記念館

## 大政奉還コース③

歩行距離約2.6km  
約120分

慶応3年(1867年)10月、徳川慶喜は大政奉還を受け入れました。このコースは、大政奉還を遂げた幕末の四賢侯の一人山内内容堂と西郷隆盛との会見の地や、大政奉還に道筋をつけた後藤象二郎の誕生地などを巡ります。

(展示館ガイド)  
龍馬の生まれたまち記念館

- 坂本龍馬誕生地
- 山内神社
- 山内内容堂像
- 山内内容堂邸跡
- 容室西郷会見の地(此君亭)
- 旧山内家下屋敷長屋
- 後藤象二郎誕生地
- 板垣退助誕生地
- 武市半平太殉節の地
- 高知城歴史博物館
- 龍馬の生まれたまち記念館

## 龍馬青春コース④

歩行距離約3km  
約120分  
電車利用

龍馬と行動をともにした近藤長次郎。龍馬初恋の人といわれる平井加尾やその兄収二郎。このコースは、龍馬の青春時代の史跡を巡ります。また坂本家の人々が眠る坂本家墓所も巡ります。

(展示館ガイド)  
龍馬の生まれたまち記念館

- 坂本龍馬誕生地
- 近藤長次郎邸跡
- 才谷屋跡
- 池内蔵太郎跡
- 望月清平・龜弥太郎跡
- 永福寺
- 弘瀬健太郎跡
- 平井収二郎の墓
- 坂本家墓所
- 徳弘董斎誕生地
- 火曜市(火曜日のみ)
- 龍馬の生まれたまち記念館

## 半平太コース⑤

歩行距離約2.7km  
約120分  
電車利用

武市半平太(瑞山)は文政12年(1829年)9月、高知市仁井田吹井に生まれました。半平太は尊王攘夷を掲げ、土佐勤王党を結成しました。このコースは、半平太や半平太と深いかわりがあった吉田東洋の史跡などを巡ります。

(展示館ガイド)  
龍馬の生まれたまち記念館

- 坂本龍馬誕生地
- 上町丁目(菜園場町)
- 武市半平太(道場)跡
- 西郷隆盛木屋家跡
- 長岡謙吉顕彰碑
- 河田小龍塾跡
- 高知よさこい情報交流館
- はりまや橋
- 吉田東洋殉難の地
- 武市半平太殉節の地
- ひろめ市場
- 龍馬の生まれたまち記念館

## お城下・土佐のうまいもんコース⑥

歩行距離約2km  
約120分

市民の生活市として300年以上の歴史をもつ高知市の街路市。その中でも規模が大きな「日曜日」と「木曜日」に立ち寄りです。このコースは、高知の食をテーマに街路市の他にひろめ市場などを巡るとともに、土佐藩の山内家ゆかりの史跡を巡ります。

(展示館ガイド)  
龍馬の生まれたまち記念館

- 坂本龍馬誕生地
- 山内神社
- 山内内容堂像
- 山内内容堂邸跡
- 容室西郷会見の地(此君亭)
- 旧山内家下屋敷長屋
- 木曜日(木曜日のみ)
- ひろめ市場
- 大橋通り商店街
- 日曜日(日曜日のみ)
- 龍馬の生まれたまち記念館



### 龍馬気分でまち歩き!

龍馬の衣装を着てまち歩きができます。龍馬になった気分が高知のまちを歩いてみませんか?詳しくは、お申し込みの際にお尋ねください。

- 貸出期間: 通年貸出
- 料金: 3,000円
- ※その他詳細は、龍馬の生まれたまち記念館にお問合わせください。



<h3>A 坂本家墓所</h3> <p>高知市山手町、通称丹中山(たんぢやま)にある坂本家の墓所で、平成20年(2008年)3月に史跡公園として整備が完了。郷土坂本家初代から龍馬の父母や、龍馬に多大な影響を与えたとされる坂本乙女の墓もある。</p>	<h3>B 日根野道場跡</h3> <p>龍馬の生家近く、龍馬が14歳から脱藩するまで、江戸修行の期間を除いて剣術修行に励んだとされる場所。ここでの修行を通して、龍馬は剣技だけでなく精神面でも大きく成長した。</p>	<h3>C 坂本龍馬誕生地</h3> <p>坂本龍馬は、天保6年(1835年)11月15日、郷士・坂本長兵衛(八平)直足と幸の次男として、この地で誕生した。毎年11月15日には、記念碑の前で龍馬誕生祭が盛大に行われている。</p>	<h3>D 山内内容堂像</h3> <p>土佐藩15代藩主山内内容堂の銅像。大正15年(1926年)に高知城二ノ丸に設置されたが、昭和19年(1944年)に供出された。その後、18代当主山内豊秋氏が再建を計画し、平成14年(2002年)に現在地に完成した。</p>	<h3>E 高知城</h3> <p>初代土佐藩主山内一豊とその妻千代が礎を築いた土佐二万四千石の歴史ある城。関ヶ原の功績により徳川家康から土佐一国を拝領した山内一豊が、慶長6年(1601年)新城の築城工事を始め整備。江戸時代より南街道随一の名城として知られ、三層六階の天守や追手門などの建物は国の重要文化財となっており、日本100名城にも指定されている。</p>	<h3>F 日曜日</h3> <p>元禄3年(1690年)誕生地の歴史があり、毎週日曜日、高知城から東へ約1.3kmにわたり約400の露店が軒を連ねる、日本一の規模を誇る青空市である。とれたての野菜や果物、海産物・植木・骨董などが並んでいる。</p>	<h3>G 武市半平太(道場)跡</h3> <p>武市半平太(瑞山)は安政2年(1855年)に妻の叔父鳥村寿之助と共同で道場を開いた。門人は120人ほどいたとされ、中岡慎太郎や岡田以蔵なども通っていた。</p>	<h3>H 開成館跡</h3> <p>開成館は、幕末に殖産興業と西洋風の科学教育の振興・富国強兵を目的として土佐藩が建設した技術教育機関である。現在は、記念碑が建立され、維新前後において歴史の重要な舞台となったその地を顕彰している。</p>
--	--	---	--	---	---	---	--